

深掘り！ 保険用語



株式会社ウインライフ

小野 力

<E-mail>

tsutom_ono@maia.eonet.ne.jp

< 70 >

企業保険市場の1割占める

法制度整備された欧米で増加

前回に続き、「キャップ」に課税を免れるための怪しい手段」というイメージが強いようです。しかし、現在ではキャップは租税回避を主な目的として創られた仕組みです。日本では、「キャップ」はタックス・ハイブンを活用した租税回避は各国内で問題視され、1970年代以降多くの国でタックス・ハイブンを課税するようになった。タックス・ハイブンの親会社の利益と合算されることになった。

キャップタイプの税制メリット減少したが…

元受保険会社が引受に難色を示すような特殊性の増加に、今では世界中に約7000社のキャップタイプがあり、企業保険市場の約1割を占めています。欧米ではキャップタイプをリスクマネジメントの重要な手段として考えていると、言っても過言ではありません。

①一般的な保険商品による対応が困難なリスクの移転
②リスクマネジメントの向上
③保険会計の活用
④将来のための保険金支払準備金を費用として経費処理することが可能

欧米でキャップタイプが盛んなのは、法制度が整備されていることが大きな理由として挙げられます。米国では、多くの州で「キャップタイプ法」を制定しその利用を促進しています。キャップタイプを特殊な保険会社として位置づけ、一般的な保険会社よりも緩やかな規制を実施しています。キャップタイプ法導入以降、米国ではタックス・ハイブンはなく、米国内で設立されるキャップタイプが増加しています。

マーケティングに踊らされないで！

超ストロングスタイルを売っている会社なのです。行きたくなるでしょう。ロイヤルホスト(笑)。そこで今日は、ロイヤルホスト、マーケティングに物申しちゃいます。

新規営業を目指す多くの方からこんな質問をいただきます。「経営者が電話口に出やすいのは何時ごろですか？」

1日500件の電話営業を繰り返して行っていた私の経験則では、「午前中か夕方かな」と答えています。でも内心は、「この時間帯と成果に繋がりにくい」という発想にはならないか」と思ったりもするのです。

例えば、13時から15時ぐらいの時間帯は、「社長様は？」「外出してあります」「お戻りは？」のやり取りがエンドレスで繰り返され、居過ぎに電話に出る経営者はレアと云えます。

「これから伸びるのは、損保系」

営業素人からTOTへ！
真似して伸びる 暗記営業のススメ

有限会社ミライズ 片岡隆太 -70-

問い合わせ先E-mail:info@mi-rise.com

このようなマーケティングがたびたびありました。結果を踏まえ、多くの営業マンが「電話営業は午前中に行うを実践します。しかし、この時間帯に電話に出る経営者は、集中的に営業を受けているとも言えませんか？」

「面倒だ」という、最も悪い感情を持っているかもしれないです。まさにスロウダウンスタイルな回答話に出ます。どんな人でしょうか？

「午前中か夕方かな」と答えても内心は、「この時間帯と成果に繋がりにくい」という発想にはならないか」と思ったりもするのです。

社内にいるというだけでは、営業活動がしやすい経営者なれません。あくまでも、実際の営業は「次のアポをいかに取るか？」が重要なので、この法則が当てはまるケースは、現実には少ないです。

初期投資0円でLED照明に切り替えて電気代を大幅削減！

LEDエコシステム

自己資金で設備投資する時代は終わりました。「LEDエコシステム」は、設備投資費用(水銀灯および蛍光灯からLED照明に切り替える費用)を、大幅に削減された電気料金削減額からサービス料としてお支払いいただく仕組みです。「LEDエコシステム」の活用により、初期投資0円でコスト削減&省エネ効果の高いLED照明化を実現することができます。

- 1 初期投資が0円**
LED照明への切り替え費用は電気料金削減額からのお支払いとなりますので、資金をご用意いただく必要はありません。
- 2 最適なLED照明をオーダーメイド**
LED照明は大手家電メーカー工場、お客様の環境に最適な照明をオーダーメイドで製作。厳しい品質テストを実施の上、確かな品質の製品をお届けします。
- 3 資金活用がしやすい**
設備コストはエコ事業者が負担するため予算化が不要。買取ではなくエコシステムのため償却も不要。また導入初月からコスト削減が実現し、キャッシュフローが改善します。
- 4 お支払い金額は削減分から算出**
サービス料金は削減された照明用電気料金の中からお支払いいただけます。契約期間終了後は無償譲渡いたしますので、お支払いなしで削減効果が続きます。

日本全国5000施設への導入実績
安心のLED全国ネットワーク

日本全国多業種へ導入し、コスト削減と省エネの推進を実現しています。

日本百貨店協会様が推奨!
日本百貨店協会の環境委員会にて、エコシステムの活用を推奨いただき、既に全国40施設で実施しております。

株式会社 廣濟堂 <http://www.kosaido.co.jp>
ライフスタイルデザイン事業部
〒105-8318 東京都港区芝浦1-2-3 シーパンス8 13F TEL 03-3453-0774
【大阪営業所】
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル 5F TEL 06-6444-0066